

**発言順序 1 翔の会 「13 番」 稲 葉 民 治 議員**

1 市政全般について

- (1) 新市民病院がいよいよ 5 月に開院する。常滑市民が安心して暮らせる地域医療の拠点として大いに期待するものであるが、開院後の経営安定に向けて具体的な施策が見えてこない。そこで、以下 5 点について問う。
- ① コミュニケーション日本一の病院を目指すとしているが具体的にどのようなコミュニケーションが日本一と考えているか。その具体例と年次の取組を聞く。
  - ② 経営の安定には、医師の確保は当然のことであるが、利用者の増加も大切だ。新病院開院後の利用者増に向けてどのような取組を行っていくか。
  - ③ 開院後の収支目標はどのようになっているか。
  - ④ 保健センターとの併設は市民にとっても病院にとっても魅力の一つだ。保健センター機能をどのように活かし、新病院の経営安定につなげるつもりか。
  - ⑤ 新市民病院開院に伴い、現在の病院の取り壊しも病院から提出された計画案には計上されていたが、27 年度予算の計上を見送った理由はなぜか。
- (2) 中部国際空港セントレアが開港して 10 年となった。空港の開港は常滑市を大きく飛躍させていただいたと感謝しているが、本市においては、観光面も含め、空港と共生するまちづくりを今以上に前面に出す必要も感じる。そこで、以下 4 点について問う。
- ① 空港利用者を市域に迎える観光施策は施政方針の中のどの部分が該当しているか。
  - ② 施政方針には、空港立地のメリットを最大限活かしながら、空港と共生した魅力あるまちづくりを進めていくとあるが、具体的な施策を聞きたい。
  - ③ 外国人観光客の市内宿泊が多いと聞く。新たなビジネスホテルの出店開拓など市の遊休地を活用して誘致すべきと思うがその考えはないか。
  - ④ 施政方針の中で、内陸部では工場用地周辺の環境整備を進めるとあるが、何をどのように進めていくのか。どのような効果を期待しているか。
- (3) イオンモール常滑が秋のオープンに向けて、急ピッチで建設工事が行わ

れている。常滑市にとって待ちに待った施設であり、大いに期待するところであるが、その概要は示されたものの、詳細の整備計画は明らかになっていない。そこで、以下2点について問う。

- ① イオンモールからの市民説明会では、りんくうインター付近約 6,000 坪を活用し非日常的な空間をつくりたいとしていたが、具体的にどのような非日常施設となるか市民には、知らされていない。より詳細な情報があれば明らかにしてほしい。
- ② 施政方針の中で、常滑焼の知名度向上を図るため、市民病院や市立図書館で歴代長三大賞作品の展示とあるが、イオンモール常滑での展示も有効的と考える。そのような考えはあるか。また、あるのであれば、イオンモールと話し合う用意はあるか。

(4) 防災減災の対策は我々会派も要望書を提出するなど、これまで努力を続けてきた。市民の命を守る観点からより力を注ぐ必要性を感じる。そこで、防災減災対策について4点を問う。

- ① 同報系デジタル無線は市民に一早く災害の情報を提供する手段として、早期の導入が望まれる。平成 27 年度で基本設計業務を委託し、30 年度までに整備するとあるが、総事業費はどれぐらいを見込んでいるか。また、補助率はどれほどか。
- ② 海抜の低い地域で、避難タワーの設置の考え方はどうか。
- ③ 各地では、小中学校に避難用の外付け階段を設置している所もある。現在、市内の小中学校の大規模改修など順次整備されており、こうした改修工事に合わせ、外付けの避難階段の設置も施したらどうか。
- ④ 自己負担による防災ラジオ導入も考えられるが、市の方針を聞く。

(5) 「常滑市行財政再生プラン 2011」も最終年度を迎えた。片岡市政は、厳しい財政状況の中ではあったものの、計画に沿って再生プランを着実に成し遂げきた。その政治手腕は大いに評価したい。しかしながら、再生プラン終了後も持続可能な市政運営に向けて決して手を緩めることなく進めていくべきものである。そこで、以下について問う。

- ① 続・再生プラン 2016 の策定も必要となる可能性もある。現段階でどのように考えているか。

## 発言順序2 新和会 「6番」 盛田克己 議員

### 1 施政方針全般について

- (1) 空港と共生した魅力あるまちづくりについて、具体的な考えを問う。また、積極的な誘致は当然だが、土地利用規制がある中、市内の南北を含めたバランスある発展に向けた考えを問う。
- (2) 常滑再生の実現には、「第4次総合計画」、「常滑市行財政再生プラン2011」と「市長マニフェスト」を完遂することであるが、何を根拠にゴールに近づいていると言われているのか、また、市長任期中に成果を期待できるか。
- (3) ごみ減量化は530gが最終目標とされ、草、剪定枝の堆肥化、チップ化に取り組むが、里山が消滅しかねない竹林の竹チップ化も取り組んではどうか。
- (4) 学校施設の老朽対策とともに、グラウンドの排水対策や周辺樹木の整備にも取り組むべきと考える。また、安心安全な通学路が確保されていると思わないが、どのように考えているか。
- (5) 保育園及び学童保育の待機児童ゼロには、途中転入者等も配慮されているか。
- (6) 市民との協働では、市制60周年事業にて大きな成果が出た。「明るく元気なまち」とする協働事業において、財源の裏付けが必要となることもあるが、そのための基金を設ける考えはないか。
- (7) 空港と共生し発展するために第2滑走路、西知多道路建設に向け、常滑市が前向きに行動を起こすべきと考えるがどうか。
- (8) 施政方針の実現は、職員のやる気にかかっており、職員を削減する中、

さらなるレベルアップと再任用職員の能力を発揮させる方策を考えているか。

### 発言順序3 創造未来 「11番」 成田勝之議員

#### 1 人と暮らしが明るく元気なまちについて

(1) 子ども医療費の助成は全国的な視野からすれば進んでいる方かもしれないが、近隣市町からすれば見劣りする。より使いやすく、同水準の制度となるようにすべきと考える。

現在の償還払いは使いにくく手間がかかる。現物支給を含めより使いやすい制度となることを願うが、研究・検討はされているか。また、市町村格差が無くなるよう、県国へ要望をすることを願うがどのように考えているか。

(2) 新市民病院の開院まであと少しのところまでこぎつけた。厳しい状況であることは承知しているが、産科がないことを不安に思う声は消えていない。産科の誘致について大変努力されているものの非常に困難な状況であると認識はしているが現在どのような状況で今後の方向性について問う。

(3) 子育て支援において多様な保育ニーズに対応するために民間活力を積極的に活用するとあるが、常滑市の幼・保育に関する理念を保つことが大事。

常滑市としての幼児教育、保育の考え方及び方向性は何か。保護者にとっての利便性を過度に追及していくことはよいことではない。保育に対する市としての理念をどのように保ち続けるのか。

(4) 常滑東小学校の増築を見据えた調査費がついている。学区変更に際して、説明したと矛盾はしないのか。

26年度から学区変更をした際に、大変な負担をお願いした。再度の学区見直しはないと考えているが、確認する。また、26年度の学区変更は常滑東小の増築を避けるためではなかったのか。

(5) 「安全・安心なまちづくり」において同報系デジタル防災行政無線の整

備に取り組むとあるが、できるだけ早い整備をすべきではないのか。

同報系デジタル防災行政無線の整備に取り組むこととなったとあるが、少しでも前倒しして早めに整備されることを期待するがいかが考えているか。

## 2 活力に満ちた明るく元気なまちについて

(1) 中部国際空港連絡道路の通行料金軽減の実施に向けて常滑市としてはどのように行動し、協力するのか。また、このことをどのように市の活性化策へとつなげるのか。

(2) 前島はさらに企業進出が続き、よりたくさんの方が訪れ、大きな賑わいを見せる一大集客エリアとなることが予想される。市全体としてその恩恵を受けられるようにすることが大事である。

27年度は空港と共生した魅力あるまちづくりを進め、病院とイオンモールを2大事業ととらえ花開く年との位置づけである。

イオンモールの開業及び、東隣の10.8haのりんくう常滑駅北街区2期の応募事業者にも期待をするところである。これらをはじめりんくう地区のにぎわいをいかに旧市街地へつなぐかが課題となるわけだが、どのように考えているか具体策を問う。

(3) 路線バスの朝夕の増便を要望すると同時に北部バスを効果的に活用することが大事だがどのように考えているか。路線バスの増便と同時に、北部バスの活用も併せて考え、それぞれが効率よく運行し、相乗効果を生むような連携をマネジメントすることが大事と考えるがどのように考え、検討しているか。